

○「次年度の緩和ケアリンクにいがたでやりたいこと・やってほしいこと」をご自由にご記入ください。(複数回答)

学 習・講 演

- ① 緩和ケア指導者研修のミニレクチャー (PEACE・ELNECJ 等)
- ② オレンジバルーンプロジェクトやむす美プロジェクト、リレーフォーライフなどのレクチャー。意見交換と情報共有。
- ③ 癌患者とその家族が安心して安全に在宅療養できる環境をどのように整えていかなければよいか。それぞれの役割や位置での職種に対しての啓もうや、患者や家族に対しての教育の方法を共有する。
- ④ 新潟の緩和ケア・地域包括ケアシステムに関する学習会
- ⑤ 在宅・介護施設・病院での「認知症」に対する取り組みについて講演会
- ⑥ 「がんのリハビリテーション」について、知りたい。内容についての学びの他、新潟県での現状などについて。
- ⑦ 緩和ケアセンターの取り組み特殊性について一般病棟との違いなどお話を聞きたい
- ⑧ 緩和ケアに関する勉強会 (回答数2)
- ⑨ ナラティブメディシンについて
- ⑩ コミュニケーションのワークショップのような参加型のプログラムで、簡単にできるもの。
- ⑪ 最終段階で発生する苦痛緩和に対し、輸液で対応する場合の薬剤投与に関して。「現状ではどのように対応する方法があり」「看護師でも対応可能なのか」等、知りたい。
- ⑫ リンパドレナージ、マッサージなど緩和に役立つ実践や情報。

検討・ディスカッション

- ① 臨床倫理に関する検討会の進め方、模擬検討会等を行ってみたい。
- ② 『緩和ケア』に関するアイデア発表会；日頃、(こういうことってできないのかなあ～)と思ったことを出し合ってみる。もしかしたら、実現に向けたいい知恵が得られたり、力が結集したりするかもしれない。
- ③ 在宅ケアを希望していたのに叶わなかった患者さんと家族の無念さへの支援
 - 在宅で過ごされる中で「家族だけの時間の中で出来なかつたこと」が「出来なかつた」という無念な記憶として定着されるまえに、「出来たこと」が嬉しい記憶として定着されるような支援を検討する場を設けたい
- ④ 在宅・介護施設・病院での「認知症」に対する取り組みについてディスカッション
- ⑤ がん末期患者と救急搬送について
 - 救急搬送を要請する訪問看護・在宅医・搬送される救急隊、搬送される病院の救急外来、それぞれの困っていることを話し、思いを共有。
 - 事前にアンケートなどで困っていることをあげてもらった上でグループワーク
- ⑥ 各職種や事業所が、がん患者にとってより良いタイミングで関われるようなシステムを検討したい。
- ⑦ がん治療等に関わる選択肢を提示する際の配慮について知りたい。各種専門職と話し合って、配慮の幅を広げたい。

事例検討・模擬カンファレンス

- ① 症例紹介・困難事例の検討 (回答数4)
 - 症例検討 (連携の部分について)
 - がん末期独居のケースの事例提示
 - キャンサーボードのような感じで事例検討。
- ② テスカンファレンスケースについて

- ・在宅での看取りについてのデスカンファレンス
- ③ 模擬カンファレンス
 - ・在宅からみた「残念なカンファレンス」の寸劇
 - ・理想的な模擬カンファレンスの実施

メンバーの相互理解・情報共有

- ① それぞれの施設がやっていることの報告
 - ・それぞれの職種の方に活動内容をアピールしていただく場があったほうが良いと思う。
- ② 他職種の思考を知る
 - ・それぞれの職種の価値観や判断を知る。こういう情報を必要としているんだとわかると連携する際の参考になると感じています。
- ③ 専門看護師との顔合わせ
 - ・がん化学療法看護、がん性疼痛看護、がん放射線療法看護の認定看護師ががんセンターに揃っていらっしゃるので、お顔を拝見したい（笑）。これから在宅において、がん治療が様々展開されるとなれば、訪問看護やケアマネがやりとりしていきたい人達なのではないかと思います。

その他

- ・「がんで死ぬ」をテーマに市民を交えた「緩和ケアリンク」の開催
最後までがんと闘って亡くなる。緩和ケア病棟で行き届いたケアの中で亡くなる。不自由でも家族とともに自宅で亡くなる。といった事例を用意して、市民とともに自分や家族の終末期について専門職の方をまじえてカンファレンスを、たぶん市民と医療者をまじえて100人くらいで開けないかなあと考えています。今年も10月に同様の市民向けカンファレンスを開催する予定ですが、ご一緒にできないかなあと常々思っています。よろしかったらご検討下さい。
- ・『ホスピス』＝『死』と感じ、ホスピスは選択しないと考え、在宅を選択された方が複数居られました。選択肢の是非は問題ではないのですが、上記のような捉え方は果たして良いものかどうか・・・。「在宅緩和ケア」も同じことかな?と思います。諸先生方のお考えや患者様やご家族様との関わり方・説明の仕方など伺う機会があればありがたいです。

○開催頻度・時間について：どの程度の頻度・時間が良いとお考えでしょうか。

当てはまる数字を○で囲んでください。1. 2. 以外の場合は3の欄に具体的な頻度・時間をご記入ください。

1. 現行通りでよい。

16

頻度 2ヶ月に1回。 時間 19時～21時（2時間）

コメント

- ・ネットワークが増えてきて研修会が多くなっているのでこのペースが良いかと思います。
- ・曜日は金曜日以外にはなりませんでしょうか？
- ・ほかの皆さんにはなかなか集まりにくいかもしれません、開始時間をもう少し早くしていただけると嬉しいです。

2. 回数を増やし、時間は短くする。

1

頻度 每月1回。 時間 19時～20時（1時間）

3. その他

1

（2ヶ月に1回・19時～20時（1時間））1

無回答

2